

で培われ継承されるものである。それには、保育士としての安定した雇用条件が必要不可欠である。今度委託する企業保育園では、保育士は1年契約の短期雇用で保育の質を高められないのではないかと。

い。②区の判断である。子どもの虐待防止

してもらい、その後は2級が必要かどうかの状況を見極めながら検討してまいりたい。

環境。建設

高齢者や障害者が利用可能な交通を整備することは、介護や医療費の削減など社会全体の便益になる。早急に整備が必要と考えるが区の見解は。

場合は定住人口一人当たり3㎡が基準である。区役所庁舎の建て替え

からモデル事業を実施しているが、現段階では各事例の評価は定まっておらず、さらに研究が必要と考える。

②特別職である非常勤保育士に一般職と同じ仕事をさせるのは法令上疑義があり、解雇するというのが、厚労省は、不足している保育分野に非常勤保育士を充てよと指示している。中野区独自の考えなのか。

小堤議員 虐待防止の基本は子ども家庭支援センターが核となり、地域とつながって虐待防止の啓発や相談、子育て支援などの役割を果たすこととあり、横のつながりで虐待防止を進めるべきと考えるが、区の見解は。

佐藤議員 開始2年目を迎える支援費制度の施策の目標を、制度情報の提供に置くのではなく、さらに利用者の立場に踏み込んで、必要十分なサービスを迅速に提供することに置くべきではないか。

池田議員 警察大学校等跡地利用計画案について、十分な検討や区民議論がされないままにまとめられようとしているが、なぜ区は、計画づくりを急ぐのか。13年度に策定した土地利用転換計画案にある4ヘクタールの防災公園は確保すべきではないか。

また、平成16年度は、バス・タクシー事業者による運行調査が予算化されているが、目的は何か。当面は、バスの大きさはこだわらず、警察病院などの警大等跡地施設や中野駅へ向かう新青梅街道のバス路線を開通してはどうか。

市川議員 条例を改正し、歩行中喫煙を規制する動きがあるが、環境美化を中心に進めるべきだ。喫煙場所を設けて、分煙を行う方式による歩行中喫煙規制は考えているか。

市川議員 サンプラザ取得後、当初の運営とされる10年が経過したとき、区役所庁舎は築50年になり建て替え時期に入る。サンプラザの将来の活用を考えれば、区役所庁舎との一体的な整備が重要である。まちづくりの観点から、サンプラザと区役所のある用地の将来的な活用を考えると、区役所庁舎の望ましい配置場所はどこか。

大内議員 平成16年度予算では、野方駅北口開設調査費として100万円が予算措置された。野方に住む私たちにとっては、大きな前進と考えるが、具体的な使途は何か。

答 ①一定の経験は必要だが、必ずしも年齢の高い保育士がすぐれているとは言えない。努めていきたい。

児童相談所や民生・児童委員など、連携して適切な対応に努めていきたい。

現在も支給決定に際しては、必要量を判断して行っているが、利用者の満足という視点も含めて、制度の普及啓発および相談事業の目標設定を工夫していきたい。

施設の移転から3年近く経過しており、良好なまちな現に向けて早期に計画策定が必要と考えている。不燃建造物で囲まれた安全性の高い空間が必要と考えており、防災機能は十分に確保したい。

久保議員 都道補助133号線が完成すれば、現在の中杉通りと合わせ、2本の道路ができることになる。安心して歩いて暮らせるまちづくりのため、133号線完成後の現道を、車椅子や子ども連れの歩行者が利用できる、緑の散策道路や休みながら歩けるユニバーサルデザインの道路として、整備してはどうか。

中杉通りについて

野方駅北口開設

野方駅北口開設

保健。福祉

施設があっても他区の施設なので利用できないという状況があることを、何とかしようという考えはないのか。

権利擁護センター

有害化学物質

警大等跡地の公園整備

市川議員

近藤議員

高倉議員 国や都でも重要な施策となっている介護予防のメニュー調査・研究事業への取り組みを区でも開始した検討にあたり、転倒予防プログラム、地域型痴呆予防、高齢者筋力向上、音楽療法などを取り入れる考えはあるか。

答 16年度から保健福祉部所管になる高齢者会館で骨密度相談を含む転倒予防教室を行うなど、介護予防の観点から積極的に取り組みたい。また、さまざまな介護予防メニューを取り入れられるよう検討していきたい。

精神障がい者支援

むとう議員

佐藤議員

池田議員

市川議員

近藤議員

高倉議員 高齢者いきいき入浴制度は、実質的に適用外となっている地域があり、不公平施策である。近くによい

精神障がい者支援

権利擁護センター

有害化学物質

警大等跡地の公園整備

市川議員

近藤議員

高倉議員 高齢者いきいき入浴制度は、実質的に適用外となっている地域があり、不公平施策である。近くによい

精神障がい者支援

権利擁護センター

有害化学物質

警大等跡地の公園整備

市川議員

近藤議員

高倉議員 高齢者いきいき入浴制度は、実質的に適用外となっている地域があり、不公平施策である。近くによい

精神障がい者支援

権利擁護センター

有害化学物質

警大等跡地の公園整備

市川議員

近藤議員

高倉議員 高齢者いきいき入浴制度は、実質的に適用外となっている地域があり、不公平施策である。近くによい

精神障がい者支援

権利擁護センター

有害化学物質

警大等跡地の公園整備

市川議員

近藤議員

高倉議員 高齢者いきいき入浴制度は、実質的に適用外となっている地域があり、不公平施策である。近くによい

精神障がい者支援

権利擁護センター

有害化学物質

警大等跡地の公園整備

市川議員

近藤議員

野方駅北口開設



教育

学校緑化・環境教育

高倉議員 家庭にあんずや柿など実のなる木を植樹することで、子どもたちが四季を感じ、命を感じることをできる。環境教育の格好の材料として取り組む考えはないか。また、校庭の芝生化は、整備維持コストが問題になると思うが、土壌の工夫、芝の混植などコストダウンの方法を研

る。環境教育の格好の材料として取り組む考えはないか。また、校庭の芝生化は、整備維持コストが問題になると思うが、土壌の工夫、芝の混植などコストダウンの方法を研